

治水に関する目標と実施内容（案）

平成22年1月14日

中国地方整備局

- 斐伊川では過去から現在に至るまで洪水被害が多く発生。とくに昭和47年7月洪水に松江市街地が一週間にわたり浸水するなど甚大な被害が発生
- これを契機に、斐伊川・神戸川の上中下流の一体的な治水計画として、昭和51年7月に斐伊川水系工事実施基本計画(国)の改定と神戸川水系工事実施基本計画(島根県)を策定。平成9年の河川法改正により平成14年4月両水系の河川整備基本方針を策定。その後、神戸川水系の斐伊川水系編入や国営中海土地改良事業計画の変更により、平成21年3月に両基本方針を統合し変更
- 中海では平成14、15、16年と高潮に伴う浸水被害が頻発。平成18年7月には斐伊川で計画高水位を超える出水となり、再び松江市街地が浸水するなど近年においても浸水被害が発生

主な洪水と治水計画

・斐伊川では過去から現在に至るまで洪水被害が多く発生

年月日	記事
明治26年10月	台風による洪水発生【治水事業の契機となった洪水(大津流量 約4,800m ³ /s(推定))】
大正11年	斐伊川直轄改修に着手(計画高水流量(大津) 3,600m ³ /s)
大正12年	内務省改修計画を立案(計画高水流量 3,600m ³ /s)
昭和18年9月	台風26号による洪水発生 (大津流量 約2,600 m ³ /s(推定)、馬木流量(神戸川) 約2,800m ³ /s(推定))
昭和20年9月	枕崎台風による洪水発生 (大津流量 約2,500m ³ /s(推定))
昭和25年	直轄砂防事業に着手(昭和36年完了)
昭和40年7月	梅雨前線による豪雨発生(大津流量 約1,500m ³ /s(実績))
昭和41年	斐伊川水系の一級河川指定 工事実施基本計画の策定(計画高水流量(大津) 3,600m ³ /s)
昭和47年7月	梅雨前線による洪水発生 (大津流量 約2,400 m ³ /s(実績)、馬木流量(神戸川) 約1,400m ³ /s(実績))
昭和51年7月	工事実施基本計画の改定(斐伊川:国、神戸川:島根県) 基本高水ピーク流量 斐伊川:5,100 m ³ /s(上島)、神戸川:3,100m ³ /s(馬木) 計画高水流量 斐伊川:4,500 m ³ /s(上島)、神戸川:2,400m ³ /s(馬木)
昭和56年	斐伊川放水路事業に着手 大橋川改修事業に着手(昭和57年に中断)
昭和61年	志津見ダム建設事業に着手
平成3年	尾原ダム建設事業に着手
平成14年4月	斐伊川水系河川整備基本方針(国)、神戸川水系河川整備基本方針(島根県)の策定
平成16年	社会情勢の変化により、中海土地改良事業(農水省所管)の計画変更
平成16年12月	大橋川改修の具体的内容を公表
平成18年7月	梅雨前線による洪水発生 (上島流量 約2,400 m ³ /s(実績)、馬木流量(神戸川) 約1,600m ³ /s(実績))
平成18年8月	斐伊川放水路事業の進捗により、二級河川神戸川を一級河川斐伊川に編入
平成21年3月	中海土地改良事業の計画変更、神戸川の編入をうけ、河川整備基本方針を変更

中海の主な洪水被害

- ・平成14年9月台風15号
(中海ピーク水位 H.P.+0.97m)
- ・平成15年9月台風14号
(中海ピーク水位 H.P.+1.06m)
- ・平成16年8月台風15号
(中海ピーク水位 H.P.+1.03m)
- ・平成16年9月台風18号
(中海ピーク水位 H.P.+0.93m)



高潮・波浪被害の状況 (平成16年台風15号、米子市陸奥)



高潮・波浪の状況(平成16年台風18号) (松江市大高崎町)

・近年、高潮、波浪による浸水被害が頻発している

主な洪水

昭和47年7月洪水(前線)

- ・戦後最大規模の洪水
- ・宍道湖西岸では1箇所破堤し、出雲空港が浸水し10日間閉鎖
- ・下流部松江市においても一週間にわたって浸水し、甚大な被害が発生



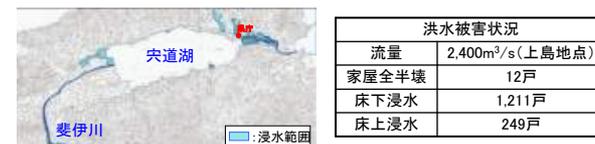
市街地浸水状況(松江市朝日町)



出雲空港の浸水状況(斐川町)

平成18年7月洪水(前線)

- ・宍道湖は水位観測開始以降2番目の水位を記録
- ・宍道湖西岸では堤防整備が進んでいたため、浸水が大幅に減少
- ・大橋川沿いの松江市において2日間わたって浸水し、甚大な被害が発生



市街地浸水状況(松江市東本町)

神戸川の主な洪水被害

昭和47年7月洪水(前線)

- ・中流部・下流部で越水により甚大な被害が発生



神戸川の増水・氾濫状況(出雲市馬木町)

平成18年7月洪水(前線)

- ・中流部の3箇所破堤し、甚大な被害が発生



浸水深:H=0.8m



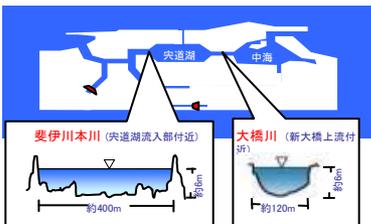
浸水深:H=1.2m

- 斐伊川、神戸川、大橋川及び宍道湖・中海における沿川状況等の社会的条件、河道状況等の技術的条件、経済性及びこれまでの経緯等を総合的に勘案して、上流部、中流部、下流部、湖部の流域全体で治水を負担することとしている。洪水時の宍道湖の水位上昇を低減するために、宍道湖への流入量を抑制するとともに、宍道湖からの流出量を確保する。宍道湖の水位は、流出総量（ボリューム）に大きく影響を受けるため、この点を踏まえた抜本的な対策を実施する。また、斐伊川と神戸川の洪水時の水位を低減させるために、洪水調節を行う
- 上流部で尾原ダム及び志津見ダムを整備するとともに、中・下流部で斐伊川から神戸川に洪水の一部を分流する斐伊川放水路を整備し、湖部で大橋川の改修と宍道湖・中海の湖岸堤を整備

治水上の特徴

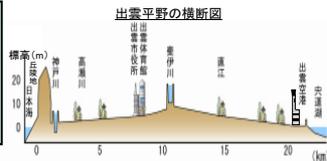
宍道湖での特性

- ・宍道湖に流入する斐伊川に比べ、流出口となる大橋川は、流下能力が小さい（断面が小さい）ため、洪水になると宍道湖水位が上昇し、長時間低下しない
- ・宍道湖周辺には松江市などの市街地が広がり、低平地のため一度氾濫すると洪水が長期間に及び大きな被害が発生



斐伊川での特性

- ・斐伊川本川は、典型的な天井川となっており、堤内地盤高に対して、河床高が3～4m程度と高い位置にある
- ・下流には出雲市街地等を抱え、一度氾濫すると甚大な被害が発生



神戸川での特性

- ・中・上流部は、山間谷底部を神戸川が流れ、その沿川に家屋等が存在し、一度氾濫すると流下型の洪水により甚大な被害が発生
- ・下流部には、斐伊川と神戸川の堤防により囲まれた出雲市街地が広がり、低平地のため一度氾濫すると甚大な被害が発生



治水対策に関する基本的な考え方

- ① 斐伊川、神戸川、大橋川及び宍道湖・中海における沿川状況等の社会的条件、河道状況等の技術的条件、経済性及びこれまでの経緯等を総合的に勘案して、上流部、中流部、下流部、湖部の流域全体で治水を負担することとしている
- ② 洪水時の宍道湖の水位上昇を低減するために、宍道湖への流入量を抑制するとともに、宍道湖からの流出量を確保する。宍道湖の水位は、流出総量（ボリューム）に大きく影響を受けるため、この点を踏まえた抜本的な対策を実施する。また、斐伊川と神戸川の洪水時の水位を低減させるために、洪水調節を行う
 - ・上流部で尾原ダム及び志津見ダムを整備
 - ・中・下流部で斐伊川から神戸川に洪水の一部を分流する斐伊川放水路を整備
 - ・湖部で大橋川の改修と宍道湖・中海の湖岸堤を整備

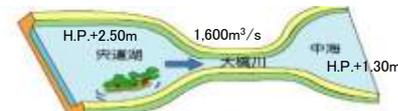
3点セット（ダム・放水路・大橋川改修）による治水対策

① 斐伊川放水路の整備



- ・宍道湖への洪水の流入量を減らすため、斐伊川から神戸川へ洪水の一部を分流する放水路を整備
- ・分流された洪水を受け持つ、神戸川で引堤等を実施

③ 大橋川改修と宍道湖・中海の湖岸堤の整備



- ・宍道湖の流出口となる大橋川において、掘削や拡幅等により1,600m³/sの流下能力を確保するとともに宍道湖・中海の湖岸堤を整備



② 尾原ダム・志津見ダムの建設



ダム名称	尾原ダム	志津見ダム
目的	洪水調節、河川環境の保全、水道用水	洪水調節、河川環境の保全、工業用水、発電
型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート
堤高	90.0m	85.5m
総貯水容量	60.8百万m³	50.6百万m³
完成目標年次	平成22年度末	平成22年度末

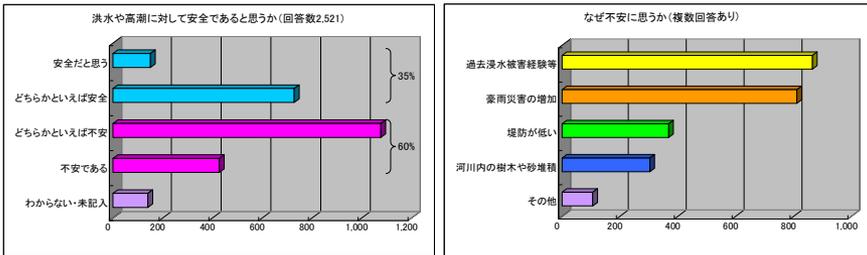
- ・洪水水位を下げ、宍道湖への流入量を抑制する等のため尾原ダムと志津見ダムを整備

現状と課題

- ・斐伊川水系全体として上流のダム、中流の斐伊川放水路及び神戸川の改修は着実に進んでいるものの、未だ整備効果は発現できていない。
- ・また、下流の大橋川改修も進んでいない。
- ・さらに、上下流バランスの確保のため、斐伊川本川の改修、宍道湖湖岸堤も未整備。そのため、水系全体として、戦後最大の被害をもたらした昭和47年当時と河川の整備水準は大差ない状況であり、洪水を安全に流下させることができない。
- ・中海、境水道では、平成14年、15年、16年と近年高潮や波浪による浸水被害が多発。沿岸では逆流防止弁の設置等の対策を実施したが、中海湖心において既往最高水位を記録した平成15年9月高潮時における水位に波浪を考慮した場合にも、堤防高さが不足し浸水被害が発生する恐れがある
- ・斐伊川本川は、過去から漏水被害が多数発生しており、浸透に対する堤防の安全点検の結果、浸透による堤防の安全性の低い箇所が多数存在

斐伊川水系河川整備計画における治水の目標

■住民アンケートの結果



洪水・高潮に対して、「不安」もしくは「どちらかといえば不安」と答えた人が60%程度と過半数以上不安とする理由は、「過去の浸水被害の経験」や「豪雨災害が増加」と答えた人が多数を占める

- 斐伊川河川整備懇談会(学識者および流域首長)での主な意見
- ・昭和47年、平成18年の水害の経験から住民は不安を抱えながら生活をしている
- ・3点セット(ダム・放水路・大橋川改修及び湖岸堤整備)による治水対策であり、大橋川改修の早期着手を望む
- ・松江市街地の被害を考えると大橋川改修が必要だが、下流部にあたる中海側の住民の不安を取り除いてほしい

整備期間 概ね20年間とする

目標

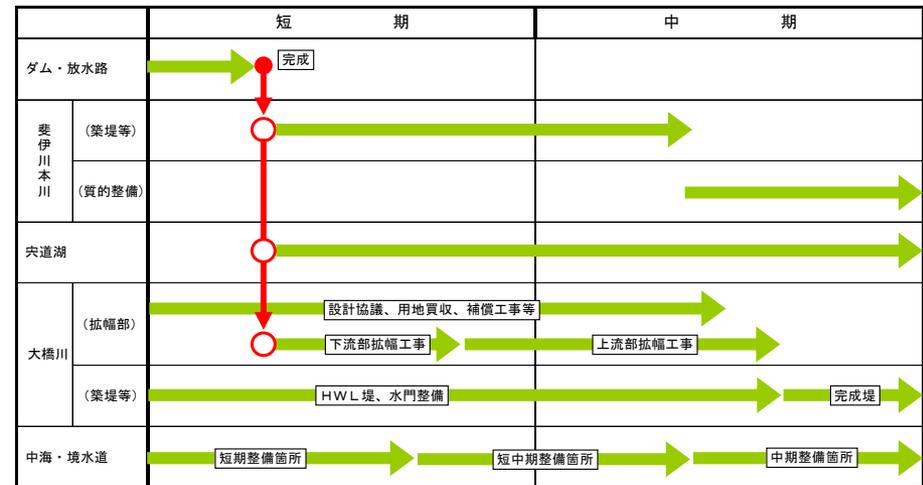
「水害から暮らしを守る安全・安心な川・湖づくり」

長期的な治水目標である河川整備基本方針に定めた目標を達成するためには、多大な時間を要するため、一連区間で整備効果が発現できるような段階的な整備を行い、洪水に対する安全性を向上させる

斐伊川水系河川整備計画(国管理区間)では、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋浸水を防止するとともに、中海、境水道では高潮を含めた既往最大水位(平成15年9月)に対し、浸水被害を防止することを目標とする

治水事業の優先順序の考え方

- ダム・放水路の早期完成および最下流部の中海湖岸堤整備**
 - ① 尾原ダム・志津見ダムおよび斐伊川放水路の早期完成
水系全体の安全度を向上させることのできるダム・放水路(着工済み)を早期に完了させる
 - ② 中海湖岸堤整備
平成14年、15年、16年と近年高潮被害が頻発している中海の湖岸堤を整備
整備順序としては、近年の高潮等により家屋浸水被害が発生した箇所から順次整備。その後、既往最高水位による家屋浸水が懸念される箇所、家屋はないが浸水被害が懸念される箇所の順に整備
- 人口・資産が集中する松江市街地を流れる大橋川の改修**
 - ① 拡幅および計画高水位までの築堤
水位低減効果及びまちづくり計画など地域への影響が大きい上下流の狭窄部の拡幅・築堤を行い、平面形状を確定。拡幅部の工事着手には時間を要することが考えられることから並行して全体の治水安全度を早期に発現するため、全川にわたり計画高水位までの築堤を先行
 - ② 計画高水位以上の築堤
パラペットおよび堤防嵩上げにより計画堤防高まで整備
- 斐伊川の改修および宍道湖湖岸堤整備**
斐伊川・・・堤防未整備区間等の築堤および支川合流点処理
宍道湖・・・昭和47年7月洪水により家屋浸水が発生するおそれのある箇所のある箇所の湖岸堤整備
- 堤防の浸透に対する安全性が著しく低い箇所での堤防強化対策**
堤防詳細点検結果および各氾濫ブロックの資産を踏まえ優先度を設定

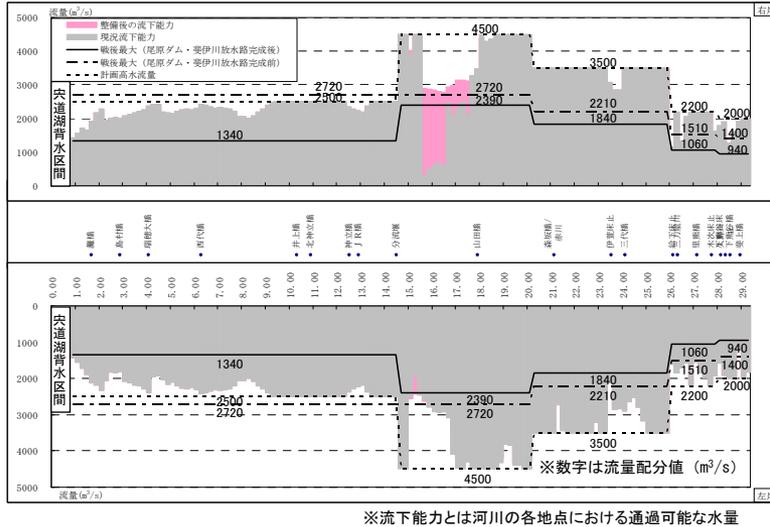


※放水路への分流の取扱いについては出雲市等と調整

■斐伊川本川においては、戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋浸水を防止することを目標とする

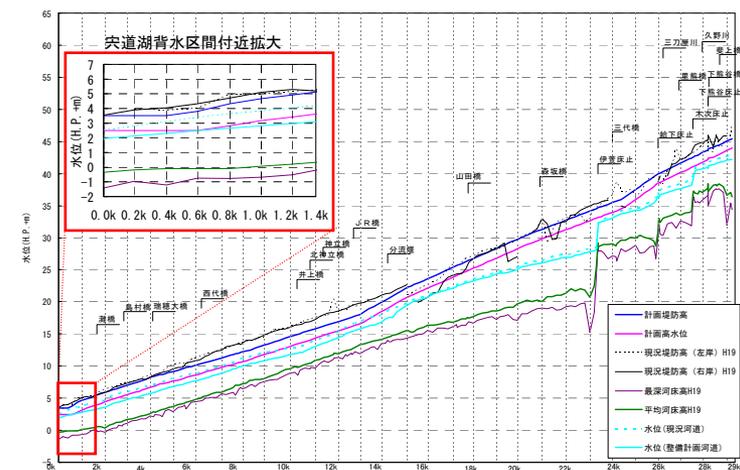
流下能力図

・整備実施後は戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水を安全に流下させることが可能となる



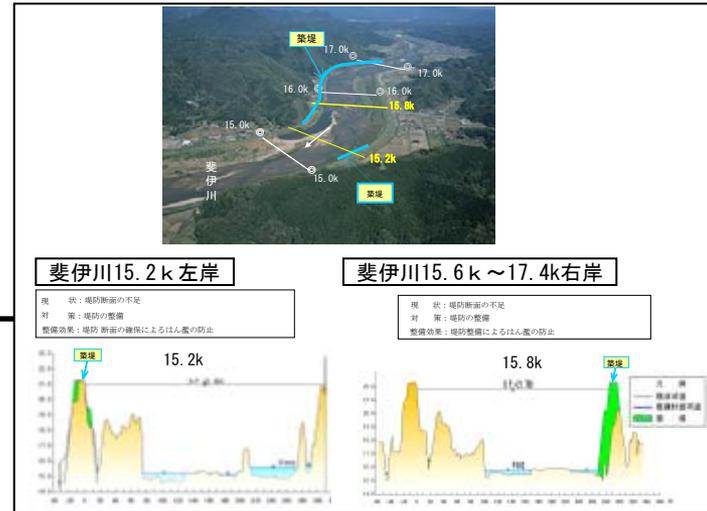
※流下能力とは河川の各地点における通過可能な水量

水位縦断面図



整備実施箇所及び整備の内容

県名	市町村名	箇所名	距離標	整備内容
島根県	斐川町	上出西	右岸 15k600~17k400	築堤
	出雲市	船津	左岸 15k200	築堤
	出雲市	伊保川合流部		支川合流点処理
	出雲市	新田川合流部		支川合流点処理



注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

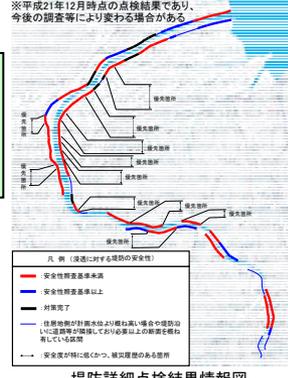
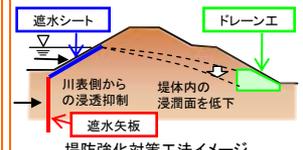
支川合流点処理

・S47.7洪水による斐伊川の水位上昇に伴う背水により支川周辺の浸水被害が発生するおそれのある箇所を整備
 ・支川処理の方法については支川管理者および地元自治体と協議しながら決定



堤防強化

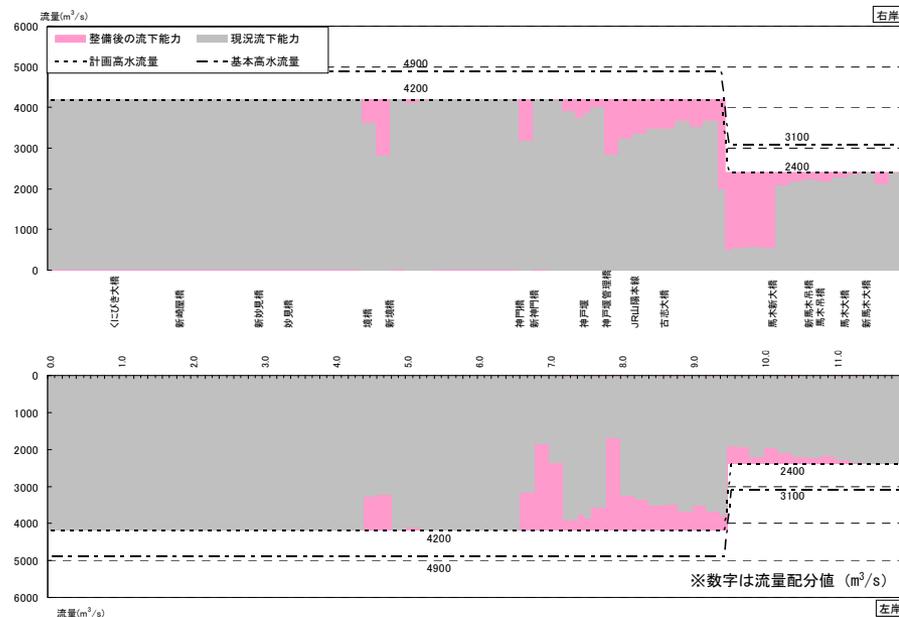
・堤防の浸透に対する安全性の点検により、対策が必要となった区間のうち、被災履歴があり、とくに安全度が低い箇所から対策を実施



■斐伊川放水路(神戸川)においては河川整備基本方針で定められた流量を安全に流下させ、浸水被害を防止することを目標とする

流下能力図

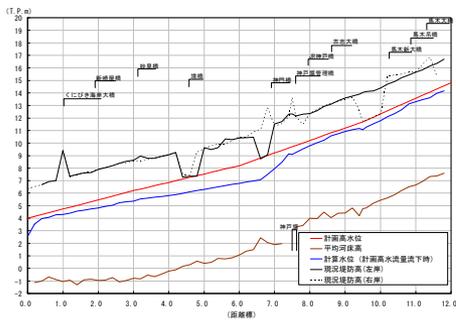
・整備実施後は河川整備基本方針で定められた計画高水流量に対し流下能力を確保できる



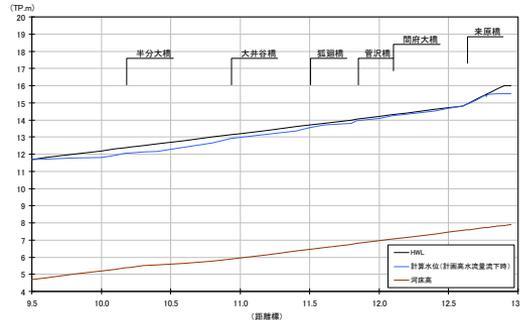
水位縦断面図

・整備実施後は河川整備基本方針で定められた計画高水流量を計画高水位以下で安全に流下させることが可能となる

■水位縦断面図(神戸川)



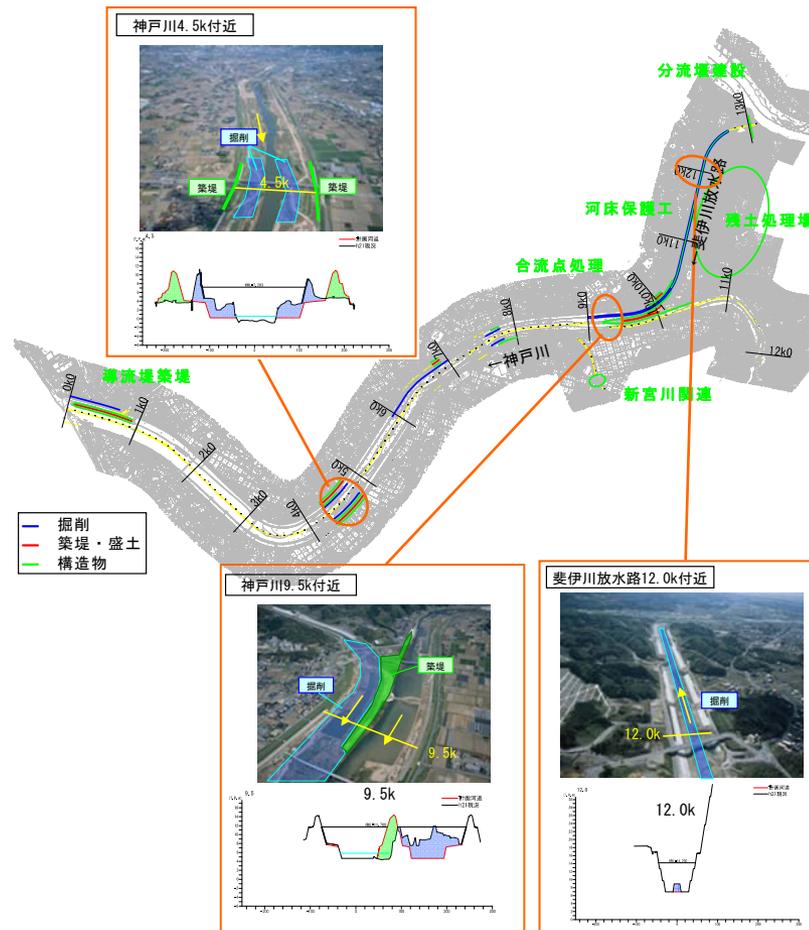
■水位縦断面図(斐伊川放水路)



整備実施箇所及び整備の内容

【斐伊川放水路事業 事業箇所一覧】

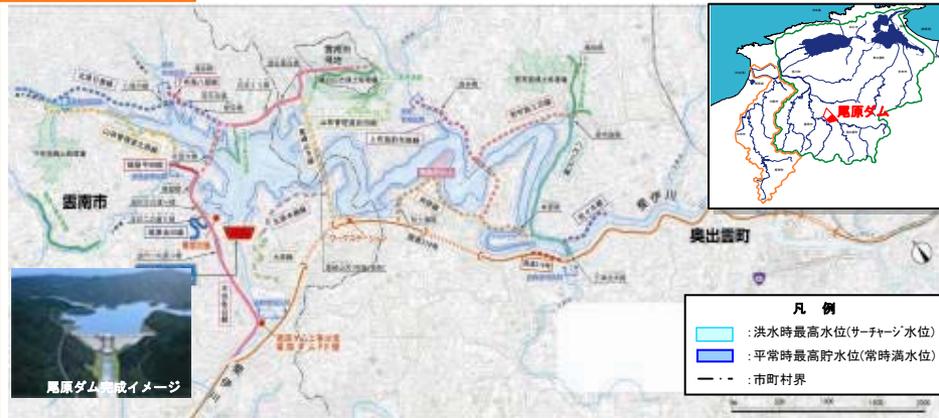
箇所	距離標等	実施内容	箇所	距離標等	実施内容
神戸川	0k000~1k000	掘削・築堤	放水伊路川	9k000~12k700	掘削・築堤・護岸 樋門・揚水機場
	4k000~5k000	掘削・築堤・護岸		10k300~12k700	河床保護工
	6k800~8k000	掘削・築堤・護岸		12k700~13k100	分流堰
	8k900~12k000	護岸			
	新宮川	サイフォン・橋梁・樋門			
稗原川	樋門				



(注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

■尾原ダムおよび志津見ダムにおいては、河川整備基本方針で定められた洪水調節施設を整備する

尾原ダム概要



尾原ダムの諸元

尾原ダム	
目的	・洪水調節 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水
ダム形式	重力式コンクリート
建設事業着手年度	平成3年度
堤高	90.0m
総貯水容量	60.8百万m ³
関係市町	雲南市(旧木次町) 奥出雲町(旧仁多町)
移転家屋	111戸
用地買収	約390ha

尾原ダムの役割

- 洪水調節
上島地点における基本高水のピーク流量5,100m³/sのうち、600m³/sの洪水を調節を行い、斐伊川の洪水ピークを低減するとともに、斐伊川放水路とあいまって斐伊川下流部の洪水を低減
- 流水の正常な機能の維持
ダム下流域の既得取水の安定化及び河川環境の保全のための流量を確保
- 水道用水
島根県東部地域の3市1町に対し、新たに1日最大38,000m³の水道用水を供給

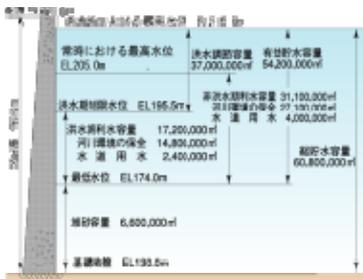
尾原ダム建設事業実施内容

- ・ダム本体打設
- ・放流設備工事
- ・管理設備工事
- ・付替道路整備
- ・護岸整備



平成21年12月撮影

貯水池容量配分図



志津見ダム概要



志津見ダムの諸元

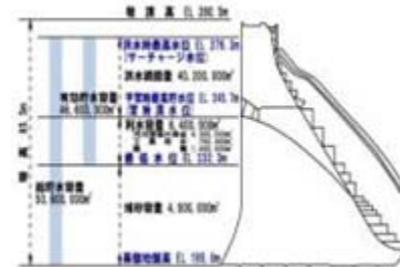
志津見ダム	
目的	・洪水調節 ・流水の正常な機能の維持 ・工業用水・発電
ダム形式	重力式コンクリート
建設事業着手年度	昭和61年度
堤高	85.5m
総貯水容量	50.6百万m ³
関係市町	出雲市(旧佐田町) 飯南町(旧頓原町)
移転家屋	97戸
用地買収	約380ha

志津見ダムの役割

- 洪水調節
馬木地点の基本高水のピーク流量3,100m³/sのうち、700m³/sの洪水調節を行い、斐伊川放水路とあいまって神戸川及び斐伊川下流部の洪水を低減
- 流水の正常な機能の維持
ダム下流域の既得取水の安定化及び河川環境の保全のための流量を確保
- 工業用水
島根県に対し、馬木地点において工業用水として、新たに日量10,000m³の取水を可能とする
- 発電
志津見ダムの建設に伴って、島根県が新設する発電所において、最大出力1,700kWの発電を行う

志津見ダム建設事業実施内容

- ・管理設備工事
- ・付替道路整備



貯水池容量配分図



平成21年12月撮影

■大橋川においては、戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋浸水を防止することを目標とする

整備順序の考え方

①狭窄部の拡幅を最優先

- ダム・放水路の完成による宍道湖及び大橋川の水位低減効果を維持しつつ、家屋浸水を防止するため、水位低減効果が大きい上下流の狭窄部の拡幅(下流→上流の順)を実施
- まちづくり計画など地域への影響が大きい上下流の狭窄部の平面形状を確定するため、将来的な法線位置で実施。松江大橋、新大橋の取り扱いについては、関連事業として施設管理者等と調整を図る

②築堤

- 築堤は段階施工とし、土堤でHWL堤までを先行して整備を行い、その後、完成堤として整備を実施
- HWL堤の整備にあたっては、水害リスクの高い箇所(H18洪水浸水実績箇所)、及び拡幅によりダム・放水路の効果が大きく損なわれる下流左岸等を優先的に整備を実施

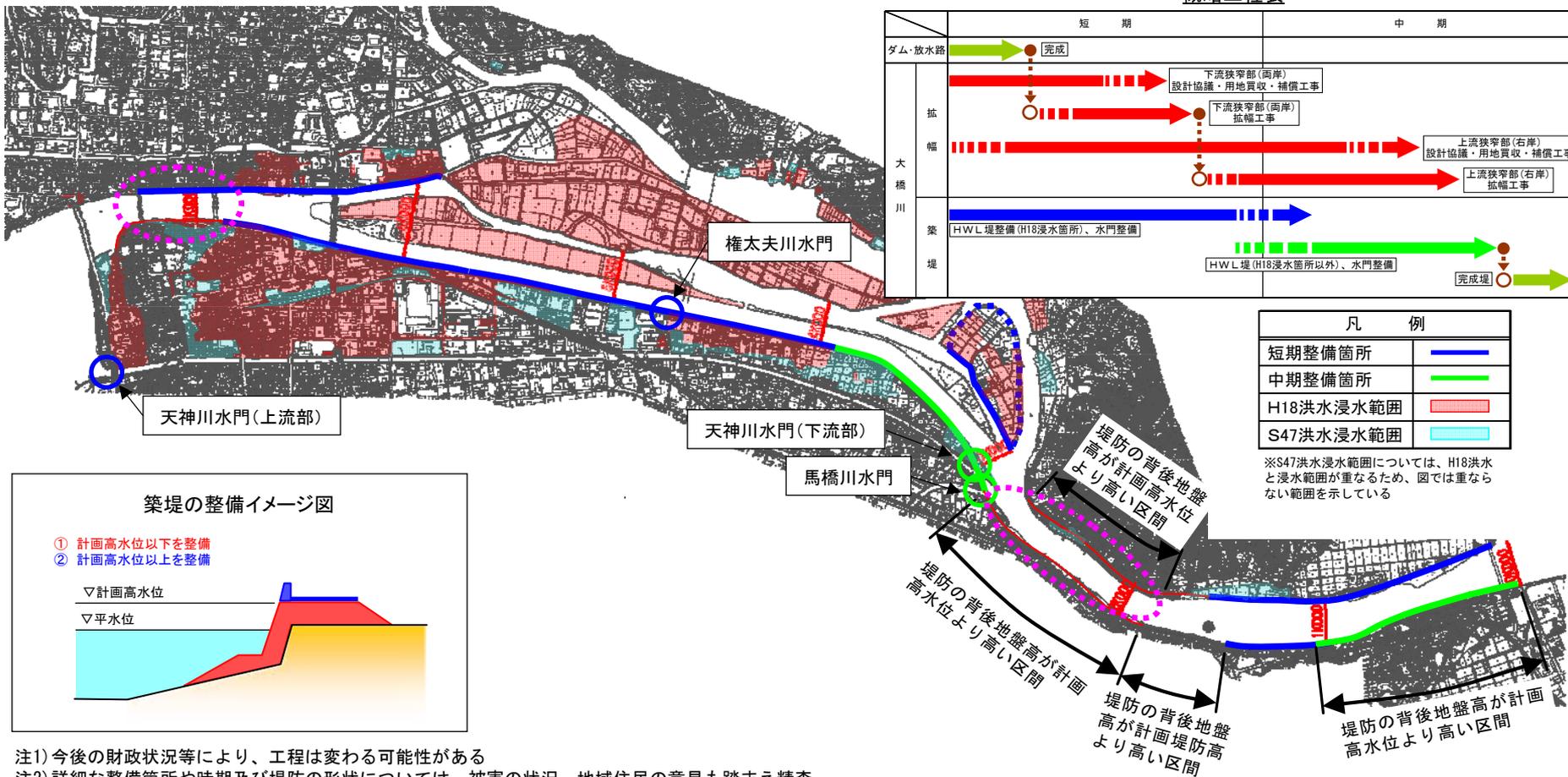
※ 大橋川の河道整備に併せて整備が計画されている市街地の内水対策事業と施工時期等の調整を図る

概略工程表

	短期	中期
ダム・放水路	● 完成	
大橋川	下流狭窄部(両岸)設計協議・用地買収・補償工事	
	下流狭窄部(両岸)拡幅工事	
	上流狭窄部(右岸)設計協議・用地買収・補償工事	
	上流狭窄部(右岸)拡幅工事	
築堤	HWL堤整備(H18浸水箇所)、水門整備	
		HWL堤(H18浸水箇所以外)、水門整備
		● 完成堤

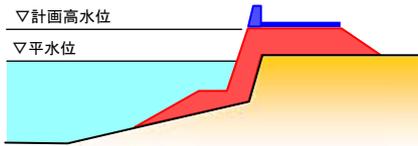
凡 例	
短期整備箇所	■
中期整備箇所	■
H18洪水浸水範囲	■
S47洪水浸水範囲	■

※S47洪水浸水範囲については、H18洪水と浸水範囲が重なるため、図では重ならない範囲を示している



築堤の整備イメージ図

- ① 計画高水位以下を整備
- ② 計画高水位以上を整備



注1) 今後の財政状況等により、工程は変わる可能性がある
 注2) 詳細な整備箇所や時期及び堤防の形状については、被害の状況、地域住民の意見も踏まえ精査

整備実施箇所及び整備の内容

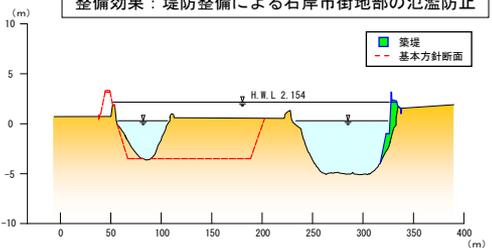
- 整備計画対象区間
- ⋯ 支川処理の調整を要する区間

注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

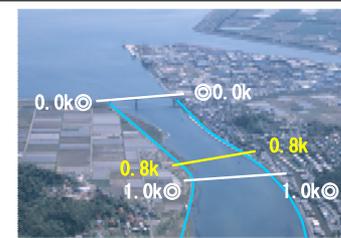
大橋川 5k400 (中流部：左岸無堤部)



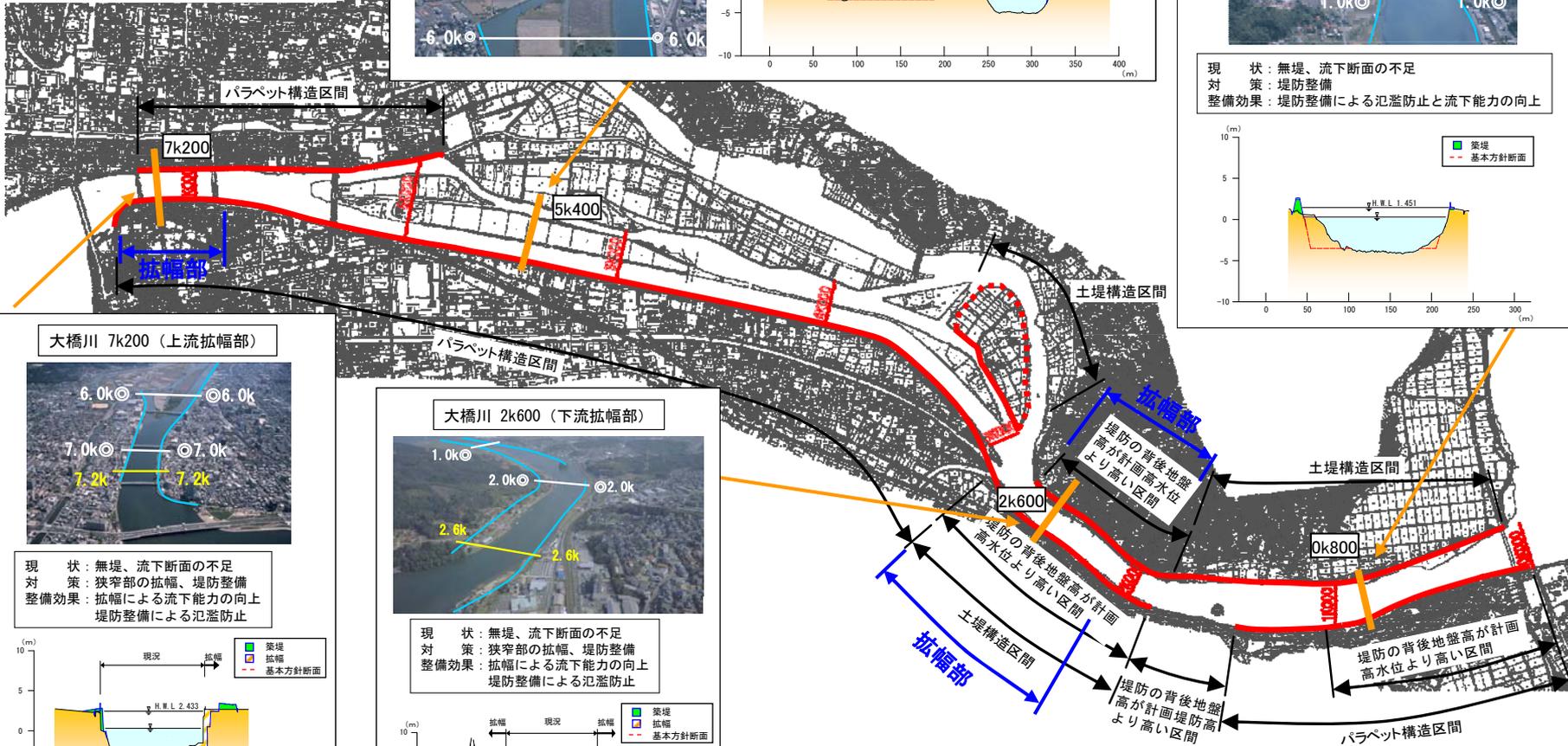
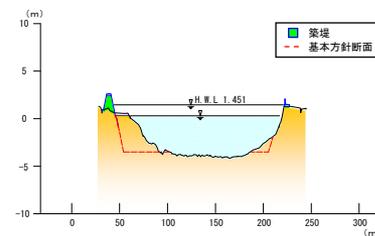
現 状：無堤、流下断面の不足
 対 策：堤防整備（右岸）
 整備効果：堤防整備による右岸市街地部の氾濫防止



大橋川 0k800 (下流部)



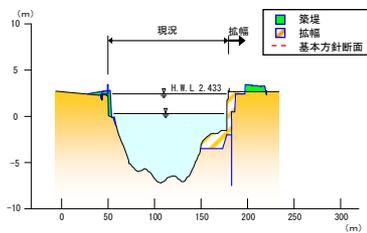
現 状：無堤、流下断面の不足
 対 策：堤防整備
 整備効果：堤防整備による氾濫防止と流下能力の向上



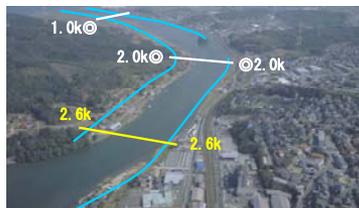
大橋川 7k200 (上流拡幅部)



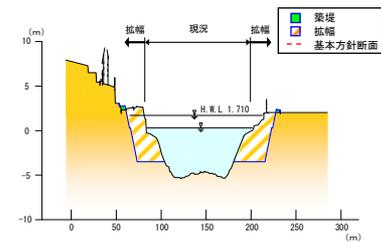
現 状：無堤、流下断面の不足
 対 策：狭窄部の拡幅、堤防整備
 整備効果：拡幅による流下能力の向上
 堤防整備による氾濫防止



大橋川 2k600 (下流拡幅部)



現 状：無堤、流下断面の不足
 対 策：狭窄部の拡幅、堤防整備
 整備効果：拡幅による流下能力の向上
 堤防整備による氾濫防止



※上流拡幅部の形状は、橋梁の取り扱いや、洪水時の流況（渦・剥離の状況）を調査・検討したうえで、その取り扱いを決定

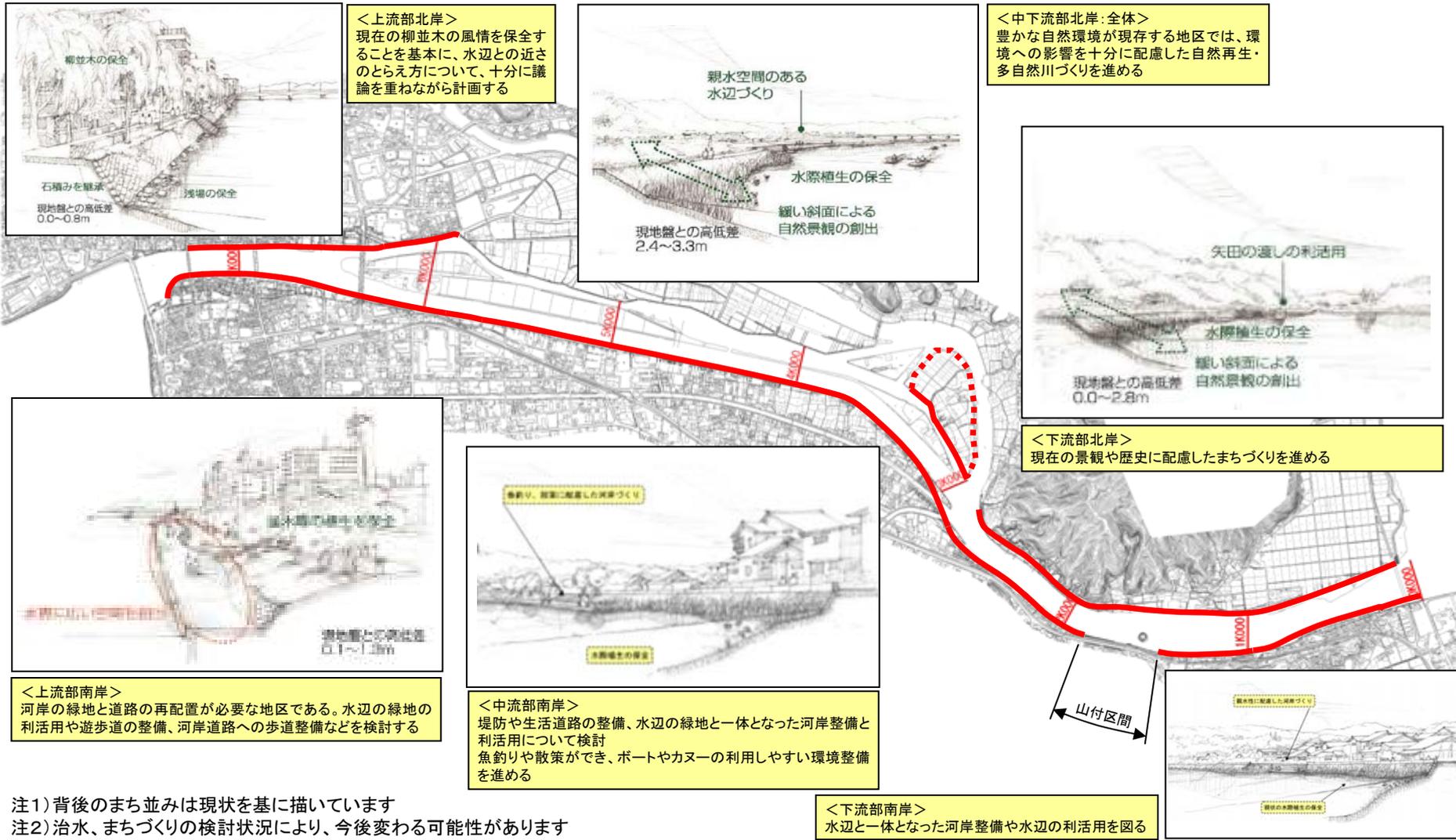
※拡幅部の工事は、環境への影響を見ながら慎重に実施する

■堤防形状については、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」から提言された各地区の整備の主な考え方を踏まえたものとする

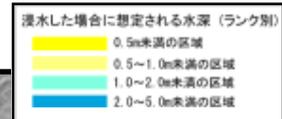
堤防イメージ

【堤防形状の考え方】

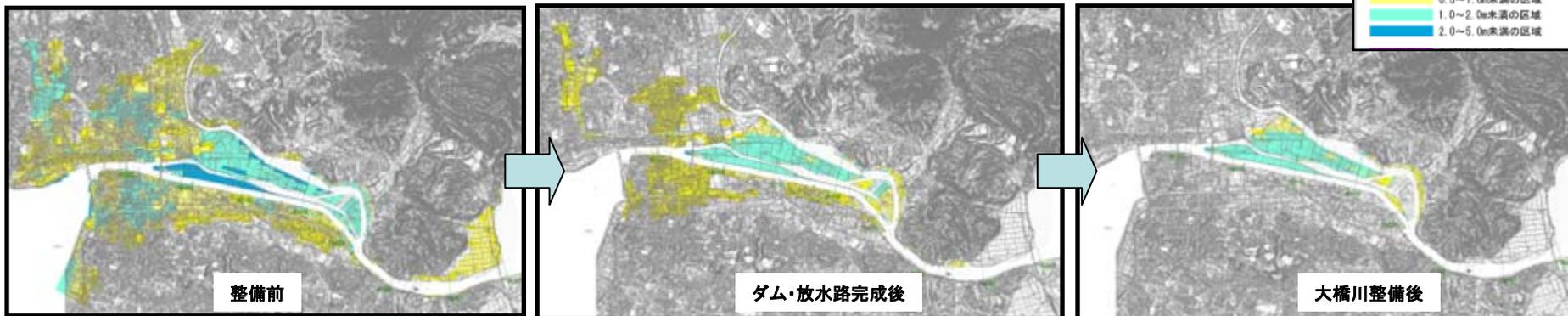
- ・大橋川改修の護岸整備については、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」にて、「住民意見交換会」等での住民意見を踏まえた種々の検討がなされ、護岸の基本的な景観イメージが下図のイメージパスのように提案されている
- ・委員会の提案を踏まえ、大橋川の現況景観を継承することを基本とし、既設護岸と同様の形状とすることとした



注1) 背後のまち並みは現状を基に描いています
注2) 治水、まちづくりの検討状況により、今後変わる可能性があります

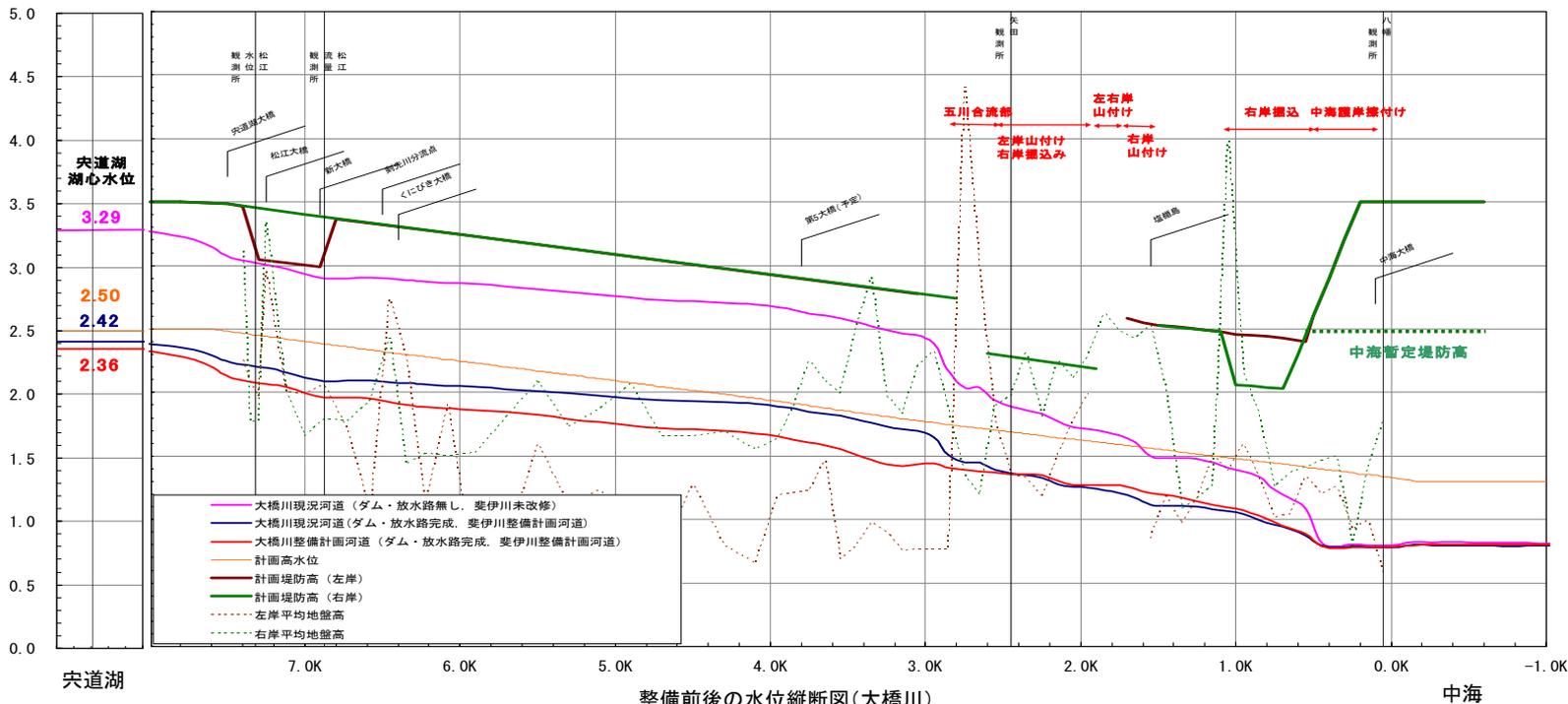


■昭和47年7月洪水に対する整備前後の浸水範囲



※浸水範囲は越水による外水氾濫のみ考慮

水位 (H.P.m)



注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

■宍道湖においては、戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋浸水を防止することを目標とする

整備実施箇所及び整備の内容

【宍道湖湖岸堤の考え方】

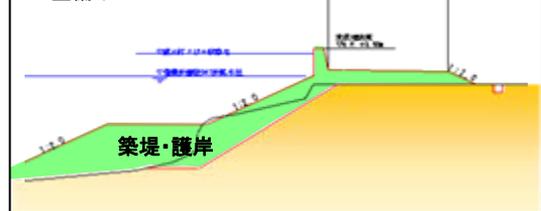
湖岸堤高3.30m未満かつ背後地盤高H.W.L. (H.P.+2.50m) 未満で背後地に家屋等がある箇所を整備する

※H.P.+3.30m

S47.7計算水位H.P.+2.36mに対し、松江水位観測所の警戒水位H.P.+1.2m以上により観測された最大風速10.5m/s (H18.7) で推計される最大の打上高

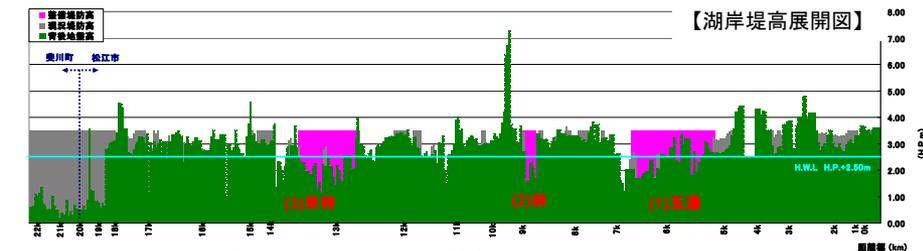
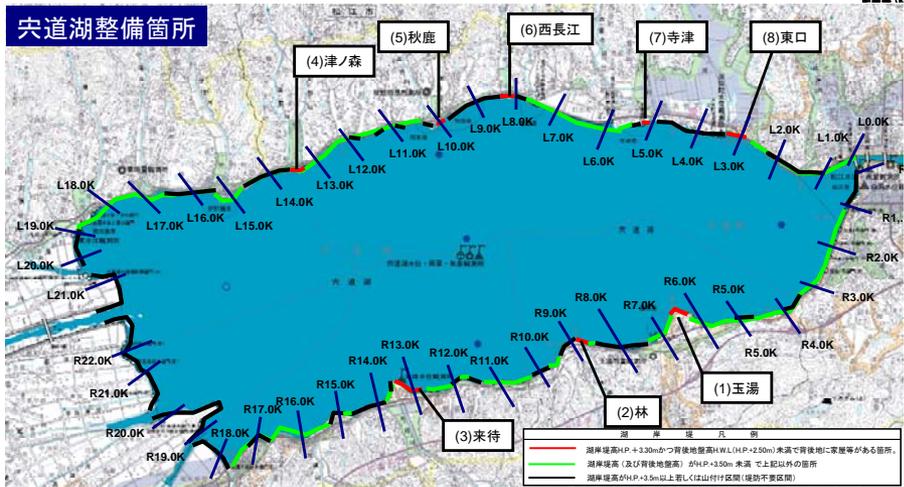
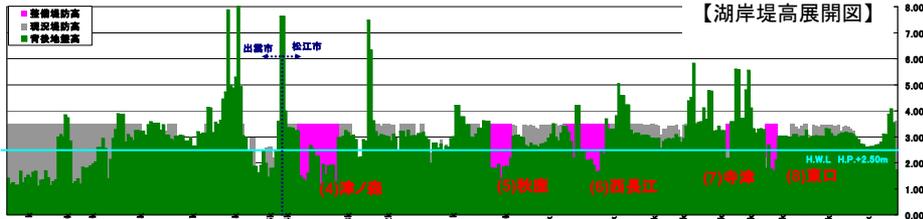


■整備イメージ



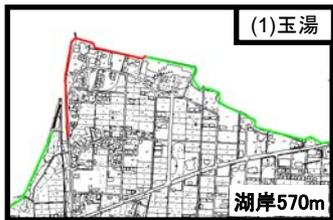
■整備箇所一覧

県名	市町村名	箇所名	整備延長	堤防高	背後地(平均)	整備内容
島根県	松江市玉湯町	玉湯	湖岸570m	1.4~3.3	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市玉湯町	林	湖岸230m	1.5~2.3	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市宍道町	来待	湖岸840m	1.6~3.3	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市大野町	津ノ森	湖岸420m	1.3~3.0	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市岡本町	秋鹿	湖岸260m	1.4~2.2	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市西長江町	西長江	湖岸300m	1.6~2.4	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市西浜佐陀町	寺津	湖岸30m	2.5	H.W.L未満	築堤・護岸
	松江市西浜佐陀町	東口	湖岸220m	1.7~3.0	H.W.L未満	築堤・護岸



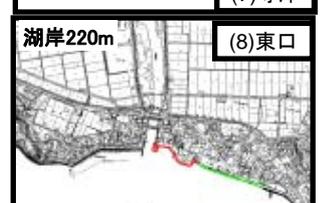
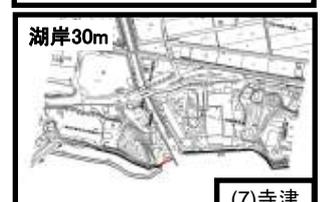
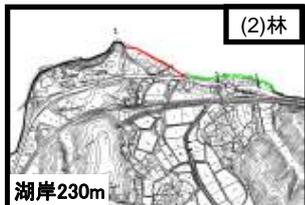
注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

※支川の処理は、支川管理者と別途必要な調整を行う。



凡例

— (Red line)	整備計画対象区間
— (Green line)	整備計画未対象区間
— (Black line)	完成堤以上または堤防不要区間



■中海・境水道においては、既往最大水位を記録した平成15年9月高潮に対し、浸水被害を防止することを目標とする

整備実施箇所及び整備の内容

【中海湖岸堤の考え方】

湖岸堤高及び背後地盤高がH.P.+2.50m未満の箇所を整備する

※H.P.+2.50m

既往最高水位 (H15.9) H.P.+1.08mに対し、中海の警戒水位H.P.0.9m以上により観測された最大風速18.3m/s (H16.9) で推計される最大の打上高

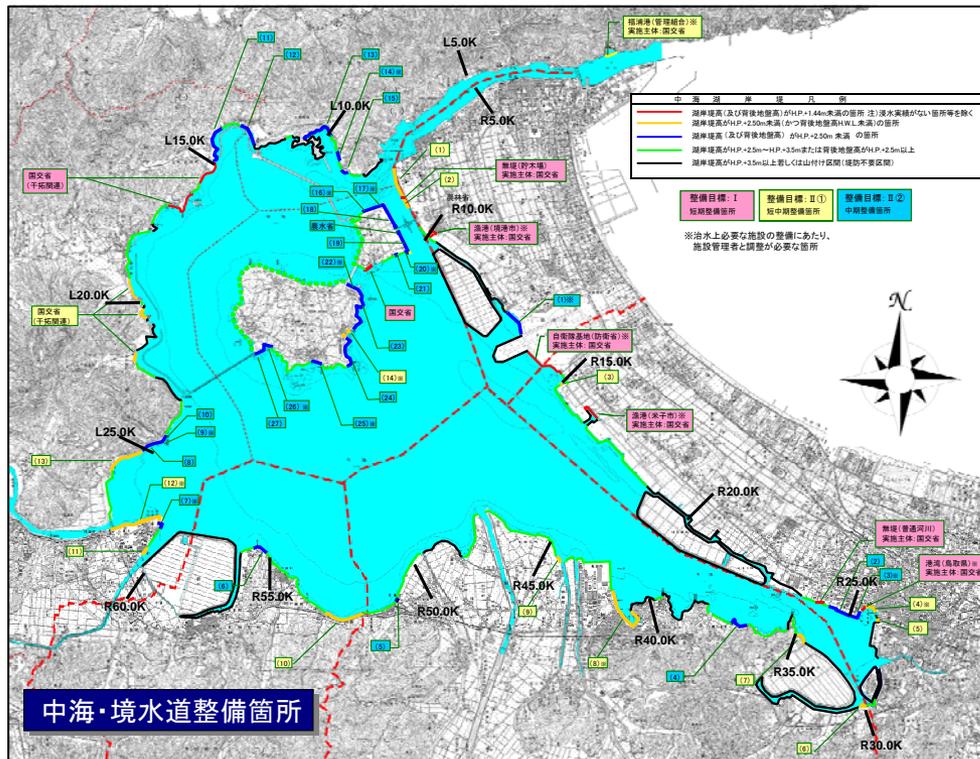


●中海の整備基準

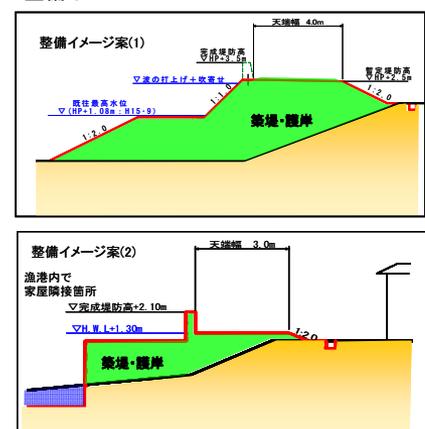
優先度		基本的な考え方	整備延長 (km)
短期	I	湖岸堤高がH.P.+1.44m未満(かつ背後地盤高H.P.+1.44m未満)であり、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後資産の価値が高(H.P.+1.44m以下の地盤に100人以上居住)箇所。	4.0
	II①	湖岸堤高がH.P.+2.50m未満(かつ背後地盤高HWL+1.30m未満)であり、背後に家屋等がある箇所。	10.4
中期	II②	湖岸堤高および背後地盤高がH.P.+2.50m未満の箇所。	14.0
全体			28.4

※ 湖岸堤整備に伴って必要となる樋門・樋管についても併せて整備

図面表示	観岸の箇所		実施時期
	地先名	区間延長 (km)	
(1)	境港市西工業団地(貯木橋北)	1.2	II②
無堤(貯木橋)	境港市西工業団地(貯木橋)	0.02	I
	境港市西工業団地(貯木橋南)	0.4	II②
(2)	農林省	0.5	II②
漁港(境港市)※	境港市	0.7	I
	(1)※ 境港市佐妻神町(空港北)	0.8	II②
自衛隊基地(防衛省)※	境港市佐妻神町(空港南)	0.5	I
	米子市蔵津(空港南)	0.6	II②
(3)	米子市蔵津	0.1	II②
漁港(米子市)※	米子市蔵津(崎津漁港)	0.4	I
	(2) 米子市蔵津	0.6	II②
普通河川(普通河川)	米子市蔵津	0.03	I
	(3)※ 米子市蔵津(米子港 野穂橋)	0.8	II②
海濱(鳥取県)※	米子市蔵津(米子港 食品団地)	0.1	I
	(4)※ 米子市蔵津(米子港 防波堤)	0.6	II②
(5)	米子市内町(ポンプ場前)	0.04	II②



■整備イメージ

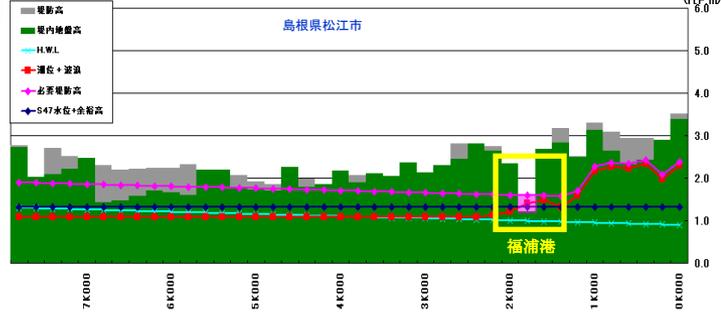


図面表示	観岸の箇所		実施時期
	地先名	区間延長 (km)	
(6)	安来市中海町	0.2	II①
(7)	安来市島田町(米子湾側)	0.4	II①
(4)	安来市島田町(中海側)	0.6	II②
(8)※	安来港	1.7	II①
(9)	安来市東赤江町	0.2	II①
(5)	安来市荒島町	0.1	II②
(10)	東出雲町下黨東(東側)	0.7	II①
(6)	東出雲町下黨東(西側)	0.5	II②
(11)	松江市富士見町(堂守川上流)	0.1	II①
(7)※	松江市富士見町(堂守川下流)	0.1	II②
(12)※	松江港	1.2	II①
(13)	松江市大井町	1.1	II①
(8)	松江市大海崎(上流)	0.3	II②
(9)※	松江市大海崎町(舟漕り)	0.2	II②
(10)	松江市大海崎町(下流)	0.3	II②
国交省(千石園通)	松江市 上宇部尾町, 新庄町, 本庄南	1.9	II①
国交省(千石園通)	松江市野原, 長海	1.5	I
(11)	松江市手角町	1.0	II②
(12)	松江市美保町下宇部尾(万原地区)	0.7	II②
(13)	松江市美保町下宇部尾(鴻奥)	1.0	II②
(14)※	松江市美保町下宇部尾(上流)	0.2	II②
(15)	松江市美保町下宇部尾(下流)	0.2	II②
(16)※	松江市八東町江島(工業団地)	0.7	II②
(17)※	松江市八東町江島(工業団地)	0.5	II②
(18)	松江市八東町江島(江島大橋北)	0.3	II②
農林省	松江市八東町江島(中浦水門)	0.3	II②
(19)	松江市八東町江島(浄化センター東 舟漕り)	0.6	II②
(20)※	松江市八東町江島(シンコーボラス付近)	0.1	II②
(21)	松江市八東町江島(老人集会所付近西側)	0.02	II②
国交省	松江市八東町江島(老人集会所付近西側)	0.2	I
(22)※	馬渡漁港	0.4	II①
(23)	松江市八東町選江(下流)	1.6	II②
(14)※	選江港	0.6	II①
(24)	松江市八東町選江(上流)	1.1	II②
(25)※	松江市八東町波入	0.7	II②
(26)※	松江市八東町入江(舟漕り)	0.4	II②
(27)	松江市八東町入江(西側)	0.3	II②

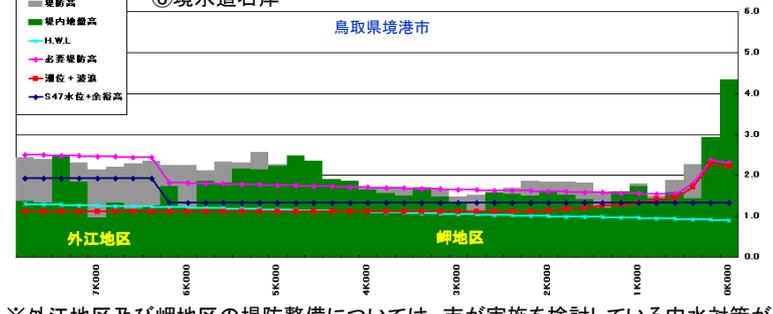
注) 詳細な整備箇所や時期及び堤防等の形状については、被害の状況、地域住民等の意見も踏まえ精査

整備実施箇所

⑤境水道左岸

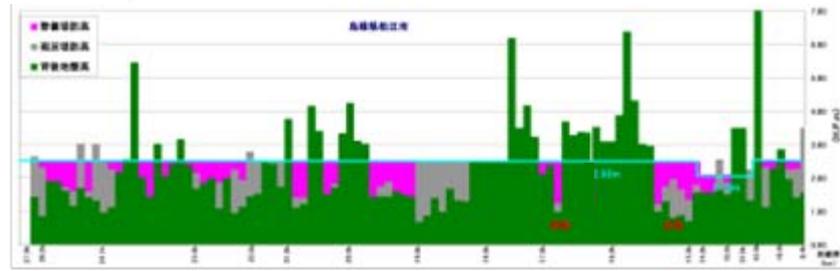


⑥境水道右岸

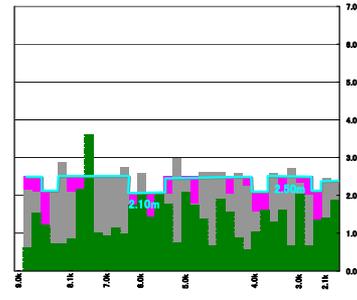


※外江地区及び峠地区の堤防整備については、市が実施を検討している内水対策が明らかになった時点で、調整を図る。

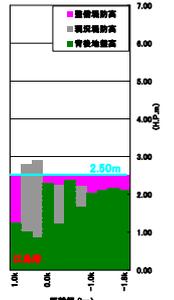
①中海左岸



④大根島南岸



③江島東・南岸



②中海右岸

